

知識の豆村						
保育所の巻			(12月1日現在)			
天	名	幼児	乳児	計	保母	年間総予算
大	坪	12人	32人	44人	5人	私立 2,236,000円
大	田	60	0	60	6	公立 10,755,000円
東	豊	50	6	56	5	1人当り平均保育料
豊	永	60	0	60	4	604円
久	軒	46	6	52	5	
西	寿	18	0	18	2	へき地保育所
穴	峯	52	0	52	2	〃
六	原	20	0	20	1	季節保育所
岩	原	17	0	17	1	〃
計		335	44	379	31	

地域課題

大へんけつ
こうなこ
です。

病氣とその原因

っているかも知れません。早期
的な解決法も見出しません。原
因についても素人の我々にはむ
つかしいものでしょうが。

つかしいものでしょうが。
しかし、農村での病気に、過

よといわれても、医者の不養生 重労働や食生活の欠かん、精神

過日役場で、成人検診がありました。なかなかの盛況で、ごったかえしていました。

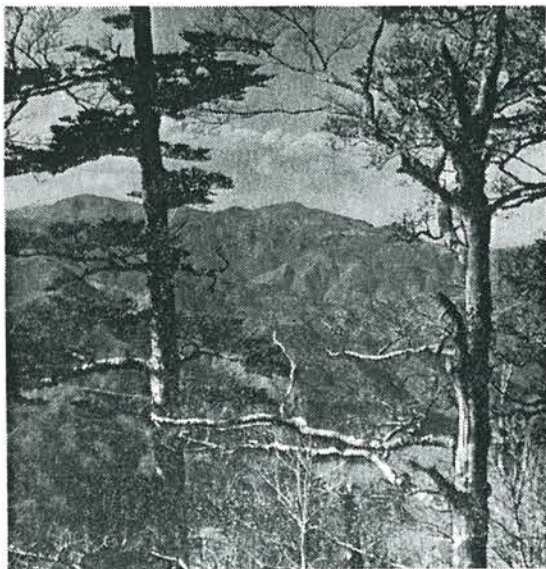
ついで健康な人も、この機会にとつめかけたのでしょうが、

人は病氣になってからあわてますが、そのよってくる原因に対してはさほどの関心も、積極的な面などが、その原因の最たるものに数えられていることはよくわかります。よくわかるけれども、その解決にはなんといっても経済的な

策を求めるよりはかに方法がな
いともいえます。

へのおなたまかせでは、解決には程遠いということもいえます。一人だけ緊張してもなんにもならない、知恵を出し合い力を

とでないにしなければ……。



梶ヶ森への道路5つの案

関係部落から

陳情相つぐ

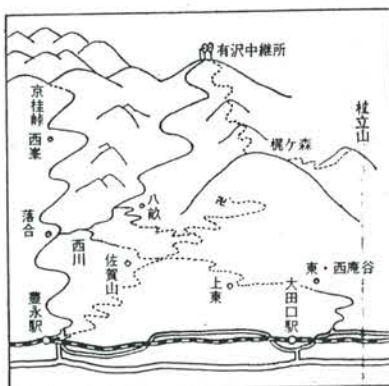
自然公園梶ヶ森への観光併用産業道路開設の構想を発表しましたところ反響が大大きく、関係部落の陳情が相ついでいます。

新設を希望する陳情路線をみてみますと

- ①豊永駅を起点と
- ②落合から西川部落へ通じている
- ③丹戸から西庵谷をとり、東庵谷に通じている林道佐賀山線を延長する。
- ④落合から立野をとり、八畝に通じている農道八畝線を延長する。
- ⑤松尾峠の有沢無線中継所から峠づたいに杖立山へ抜けるスカイ

ラインの新設。
以上の五路線です。
いずれにしても、村
議会で調査研究がなさ
れて決定されまして、
村の意向として、
今後の進め方について
西岡村長に伺ってみま
した。

「大豊は、その地形的
条件からも道路の完備
を急がなければいけま
せん。」



村内でも二十あまりの農林道工事が進められていますが、平たな部とちがって、難工事強いられ工事費も割高になり、その進みぶりは誠に遅々としたものです。梶ヶ森に通じる道路にしても、ご要望のとおり、いずれの路線をみましても必要なものばかりです。しかし、これを一度に着手することは、現状ではとても無理だと思います。

従って、どれかの路線から先に
とりあげることになると思います
が、その路線のもつ重要度を村議
会ともどもじゅうぶんに調査研究
をし審議を尽して決定したいと思
います。

また、その他の路線にしまして
も、必要なものはかりであります
ので、年次計画的に順次着手して
いきたいと考えています。」

大豊・川之江線

トンネル工事に着手

立川から川之江へ通じる道路の開設は、昨年七月に起工して工事を急いでいましたが、このほど愛媛県境の峠に、トンネル工事を着

手しました。

昨年は、刈谷から約三・五キロメートル入ったところの郷茶から工事が始められ、そこから四キロメートルの道が掘られ、ようやく峠に到着したものです。

トンネルは愛媛県側からも掘られています。

荒掘りして、両県の関係者が掘



役場は十二月二十
九日から一月三日
まで年末年始のお
休みです。一月四日から、ご用始
めです。本庁には休み中でも日宿
直が居ますから、ご利用の方はお出
下さい。

北川林道起工

三月には完成

の予定で

懸案の二号林道北川線の起工式が十一月十八日に行なわれました。この道は、北川一區から興行造林に至る延長二百四メートル、山四メートルのものです。

受益面積は約一千二百ヘクタール、そのうち興行造林は三百ヘクタールです。

工費は一千万円で、溝淵建設の手で明年三月二十五日に竣工予定です。

手する貫通の日は、明年七月が予定されています。

そして全線が完全開通されるのは、四十二年三月の予定です。

土佐藩主が、あえぎあえぎ通った参勤交代のこの要路も、地元民五十年余の悲願をひめて今や軽自動車でも簡単に峠まで行くことができるようになりました。

(写真はトンネル工事。)

大豊村方面の組職上幾能

團長 森下 勇

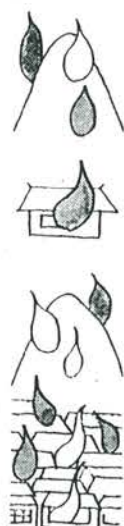
副団長 近藤英幸・西岡 丈

分団名	団 長 名	単位部名	部 長 名	団員数	ポン プ 台 数	ポン プ 運搬車
落 合	前田 祝稲	西 峯		23	2	
		落 合	小笠原忠義	32	3	
豊 永	小笠原福繁	川 戸	上村 広光	22	2	1
		豊 永	大家 康男	23	3	
東 部	北村 守重	岩 原	寛 豊景	23	3	
		大久保	石川 正澄	23	3	
大田口	上村 勝繁	大田口	林 時政	32	3	1
		舟 戸	竹村 道盛	24	2	
杉	入野 正雄	杉	小笠原久穂	35	4	1
		穴 内	小笠原寛一	25	2	
立 川	秋山 澄夫	川 口	鎌倉 邦彦	20	2	
		立 川	杉本 富男	25	2	
天 坪	西岡 忠治	馬 瀬	水田 浩一	30	2	
		北 川	大石 利徳	20	2	
7分団	7 人	14部	14人	367人	35台	3 台

みなさん
火の始末は
よろしいですか

火災の起りやすい季節です。火災の悲惨さは、みんながわかりすぎるほどわかっているのですが、ほんのちよつとした不注意から、取りかえしのつかぬ事になってしまう例が多いようです。不可抗力なこととは、さておいて一人一人が注意するようにすれば大事を未然に防ぐことができます。よくわかっているのですが、なお一そう火の始末に注意しましょう。

御参考までに村の消防組織と機能をお知らせします。



大豊村消防団の組織と機能

40
•
12
•
現在

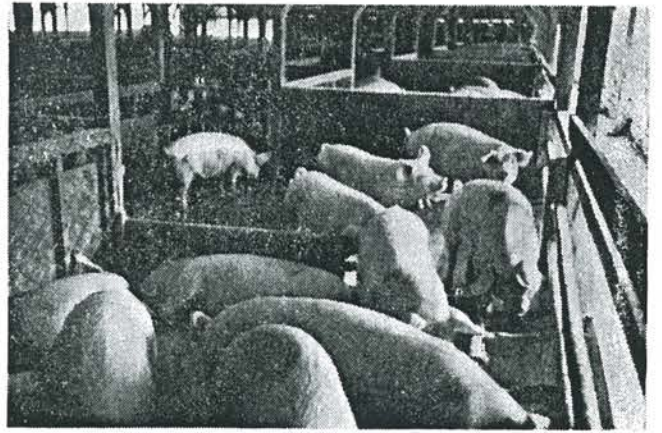
心がけひとつ



トマトづくりから 養豚経営へ

多頭飼育で 成果あける

大平五人のグループ



高冷地という大豊の気象条件を生かした野菜栽培、とりわけトマトが阪神市場で名をなすに至ってもう八年、早いものです。

このように、信用ある産地になったのも、もとはといえば指導者の力もさることながら、栽培者たちの並々ならぬ努力の結果といえることがいえます。

そのなかでも、大平部落の方々、村内でもいちばん早くトマトなどの栽培出荷にふみきったのです。

管理技術のたいへんむづかしいこのトマト栽培も、夏涼しいという立地条件と適期をたたくに生かして、その品質とともに、市場側から好評を得、有利に販売出荷ができたのです。

その後、西条、岩原、佐賀山等各地で続々と増反されて、今日の活況を呈するに至りました。

しかし、ただひとつ障害となってきたのは、忌地（いやち）現象です。連作ができないとなると、耕作地を何年計画で交代に栽培

成功した共同化

こうした情勢から、大平部落の松本製菜美さんを中心となり、次の五人で大平畜産組合（農業法人）を昭和三十八年七月に設立しました。同志は大平正一郎（西川）、現在組合長、三谷美好（西川）、松本製菜美（大平）、三谷千秋（大平）、門田明好（大平）の各氏です。出資金は五十万円、そのほか近代化資金を導入しています。

養豚場は大平部落にあり、百五十坪の畜舎一棟に、常時三百頭が飼育されています。

子豚は徳島や窪川から仕入れ、約四ヶ月飼育して毎月平均六十頭を出荷しています。

最初、なにかと苦労の連続であつたようですが、そのかいあって、大平の豚は、その肉質からいって常に市場価格の上位を占めているのは優秀な成績をあげています。

また現在の畜舎のすぐそばに、もう一棟増築しており、将来は常時四百五十頭を飼育したいと、はりきっています。

となく共同、協業化の進んでいる大豊で、この組合の成功は、組合員の和はもとよりのこと、部落がかりがっていること、部落内の三人も同じ班内でなく離れていることなどで、部落行事や、その他生活習慣に全員がかりあうということがなく、努力配分がうまくいくというところにもあるそうです。

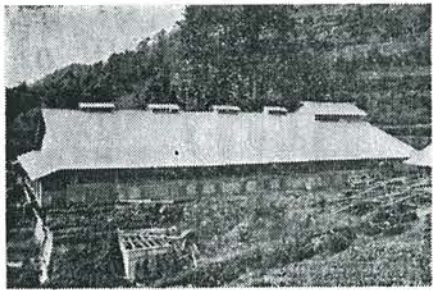
現在は大平さんが常勤で、出荷入荷等を除き、毎日一人宛交際をやっています。

順調な経営も、ただひとつ、あふれ出るふん尿の処理に頭を痛めています。ろ過施設も一つありますが、これも少しこわれており、修理することにもなっています。

村内には、このほか和田（二百頭）八畝（百四十頭）で多頭飼育が行なわれており、いずれも経営は順調のもようです。

なお、今後の問題について、村事業課の阿佐主事に伺いました。

「今までの零細経営から多頭飼育共同化と企業経営へ進んだことに成功の一因があると思います。」



事は明年一月末に完成される予定です。

大平の場合は、飼料は全部購入しています。それだけに肉質は一定してよいのですが、どうしても支出がふてきまますので、今後は飼料の自給化ということも研究すべきだと思います。また代替時期の資金確保も当然必要なことです。

将来、大平のみでなく、金般に多頭飼育が進められると考えられますが、その際は、畜舎の選定、ふん尿の処理等にじゅうぶん留意しなければいけません。

近く東豊永農協が繁殖豚を導入し、村内の子豚需要にこたえようとしていますが、将来は村統一の出荷購入の体制にもっていくのがより有利だと思います。

また今後、共同経営をする場合は経営簿記の記載を正確にするということが、経営の合理化に通ずる重要な要素をもっているのだとじゅうぶん御研究をいただきたいと思っています。」

岩原へ 岩原部落へ、このほど、二十五頭の繁殖豚が導入されました。

最近、村内の和牛が減っています。全国的にも、その傾向がありますが、たいへん値上がりしています。村としても、そのような状況から山村振興特別事業の指定を受け、繁殖牛を導入し、和牛の繁殖団地形成をはかるうとしているものです。

収入役に門田氏 村収入役の橋本幸恵氏（69才）は去る十一月十三日に高知市で会議中、脳軟化症が原因で倒れられ一時重体でしたが、その後小康を保たれ現在高知市で療養中です。

このため収入役を辞職されました。十二月の定例村議会に後任として門田盛一郎氏を選任する議案が出され同意を得ました。

門田氏は現在農業委員会の会長をしていますが、辞職することになりました。門田氏は怒田部落で46才。旧村当時は収入役、助役を歴任しています。

上佐は昔から酒のみの天國だとわけています。

よきにつけ、悪しきにつけ、酒は切っても切れない社会慣習の仲だちをつとめているわけですね。

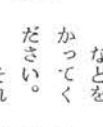
用い方によって、あるいは百葉の長に、あるいは気持に水にと、酒と人の両面を持ったやっかいなやつで、それ故に悲劇のものともし、しばしばなるわけですね。

「酒は涙かためいしか」と歌われれば、お酒のむな御意見なれど、なんでもお酒がやめられよか」という歌もはやります。

昨年一年間に大豊で飲まれた酒の量は、赤ちゃんから老人まで、全村民一人当たり六升一合も飲んでいました。

こうした「お酒」が、子供たちにとり受けとめられているか、作

お父さんとお酒



文をのぞいてみましょう。公民館では、家庭教育資料の資料にするため児童の作文を集めますが、その中で、お酒のことについて注文をつけているのが、実に七割近くもあります。

「おとうさん、お酒をあまりのまないでください。それは、よくおそくかえってくるからです。おとうさんは、お酒を飲んで、よっぽうかえってきません。」

けれども、ばくだけには、おとうちゃんみたいに、あまりお酒をのまないよ、いってくれます。

お父さん会などあつて、お酒をのむときは、だまってるまじかにうけとめられているか、作

瀬戸内文化を発祥に 吉野川をさかのほる

西村自登



阿波池田、四国島の中、心点で吉野川に由来する。阿波池田、四国島の中、心点で吉野川に由来する。阿波池田、四国島の中、心点で吉野川に由来する。

郷土の歴史 土佐、伊予をつなぎ、さらに日本文化の揺りかごたる波静かな瀬戸内海に至っています。大陸文化は、対馬、九州の飛石ついに、豊後水道から関門海峡をくぐって瀬戸内海に入ります。

すに、うちへいってからのんでください。」

「おとうさん、私がおねがいの手紙をかきます。」

おとうさん、お酒をあまりのまないようにして、お母ちゃんに、ふくや、けしゅうひんをかってやってください。

そして私たちに毛糸のふくなどをかいてください。

日曜日の父、夜の父、酒の入っている父、はいていない父、ときどき、散歩している父、ときどき、大層な酒を飲んでいる父、うめばれている父、親のようです。

慈母ということとともに、慈父をほしいのです。そういうものにわたしもなりたい。と……

池田町の石器 大正十一年に池田町北辺の、吉野川に接した高地上に野に中学校敷地開設中、縄文土器、弥生土器、石の、石や、石さじ、石やじりなどを発掘しました。

また、穴居の底土に焚火のあと、昇降の階段、小屋の柱穴跡などが、一定の間隔で、その跡を残していたといわれます。

さらに、弥生土器は、白地より通ずる伊予街道の佐野城址の北の高毛（こうげ）からも出たといわれています。

吉野川沿で、池田を中心とする台地は、町内で細野、以東で辻町、箸倉村、東洲津、西洲津、中洲津があり、以西では北岸に白地城址、南岸に中西台地等があります。これら台地には百族が散在しています。

紀伊の紀の川の河孟、鳴神から出土した船元式縄文土器は、淡路

「縄文式土器」日本新石器時代の土器で、縄文はくしで紋様がつけられている。大型で厚く粗末な黒褐色をしている。

「弥生式土器」我が国の金石併用期の重要遺物の一。質は素焼土器で赤褐色が多く、無紋である。種類は、つば、杯、かめなど。

成

大豊は本年山形振興に役立てていくとする。

月

今月（12月）の行事は、大豊の発展に貢献する。

